



## 新年のご挨拶

いづろ今村病院 院長 長野 真二郎

あけましておめでとうございます。各施設の皆様におかれましては、旧年中も格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

トランプ関税ショックから始まった 2025 年は、関西・大阪万博の開催・ミyakミyak、日本の女性総理誕生といった明るい話題もある中、円安、物価・人件費・建設資材の高騰、オーバーツーリズムと続き、最後には熊まで出現するべらぼうな 1 年でした。2025 年問題といわれた団塊の世代が後期高齢者となり、生産人口比率が低下しすべての職種において人手不足となる中、デジタルトランスフォーメーションは必須の課題となっています。昨年 7 月には当法人で行っている第 5 回の慈愛会学会が当院主幹で開催され『JIAIKAI TRANSFORMATION』というテーマのもと学び、デジタルトランスフォーメーションを一つのツールとして組織が如何に変化していかなければならないかという理念・方向性を共有することができました。

当院においては診療の柱である糖尿病センター、IBD センターの診療体制を維持継続しながら、総合内科診療が常勤 2 名体制となり、月曜から土曜日まで入院受け入れ態勢を整えることができました。それに伴いケアマネジャーの増員と訪問診療体制を整え、在宅診療支援病院としての充実を図ることができました。従来の総合診療部（総合内科、循環器内科、外科）も 7 名体制となり毎週カンファレンスを行うことや、認定特定看護師を中心とした認知症回診、褥瘡回診などを行うことで入院患者診療のレベルアップも図れました。緩和ケア病棟も診療体制の充実を行いました。また、2024 年に別館 1,2 階に移転した健康管理センターも診療体制を整え、検診受診者の更なる増加を行うことができました。

診療体制以外にも各種 BCP(事業継続計画)の作成、災害訓練の実施、業務フローの見直しなどやるべきことは山積していますが、公益財団法人として「いづろ健康・介護まつり」を名山区コミュニティ協議会と共同開催し、甲東中学校音楽部による演奏や「笑顔をつなぐまち」をテーマとした絵画コンクールを開催することで、地域に根差した病院づくりを行うことができました。

「働いて働いて働いて働いて働いて」とは言いませんが「幸せは食べて寝て待て」というわけにもいきません。いづろ今村病院は皆様方が求めるニーズに対して応えられる病院づくり、診療体制づくり、個人のレベルアップ、意欲をもって働ける医療人の育成、職場の環境づくりにむけて、今年もブラッシュアップしていきます。

今年もご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2026 年 新春

## 在宅支援センター「訪問診療部」の紹介

在宅支援センター「訪問診療部」では、通院が難しい患者様に対し、ご自宅または施設に伺い、在宅療養に必要な医療を提供しています。現在、緩和ケア科、循環器内科、総合診療科の医師 5 名が担当し、月に延べ 30 件前後の診療を行っています。緩和ケア科では専門医にて医療用麻薬の持続注射管理、症状に合わせて胸水・腹水穿刺、条件付きで輸血等の処置も対応しました。循環器内科では他の在宅医と協働して専門症状に特化した併科対応も行っております。また特定看護師、認定看護師とも連携しながら訪問診療の合間の困りごとにも適宜対応いたします。

当院は緩和ケア病棟、急性期一般病棟、地域包括ケア病棟を運営しております。在宅療養中に体調の変化があった場合の対応として、例えば、がんを患う患者様の疼痛・その他症状悪化時のコントロール、消化器・泌尿器系のドレーンやステントトラブルへの対処、糖尿病患者様の血糖コントロール不全に対する調整、経口摂取困難時のポート造設や胃瘻造設など、一時の入院で在宅療養生活を継続するための処置や治療も対応いたします。「時々入院、ほぼ在宅」を希望される患者様への一助になればと願っております。また、ご家族の介護サポートとしてレスパイト入院も対応しております。訪問診療には看護師も同行しておりますので、ご家族の悩み事など相談に乗りながら、適時必要なサポートを提案いたします。

在宅医療は、訪問診療が単独で行うことはなく、地域の訪問看護師さんや調剤薬局の薬剤師さん、ケアマネジャーさん方と連携をとりながら協働することで成り立っております。皆さまとの連携のもと、24 時間 365 日様々な状況に対応させていただきます。お気軽にお問合せください。どうぞよろしくお願いいたします。



【訪問診療相談窓口】代表電話にご連絡ください。訪問診療担当者が対応いたします。

## 「いづろ健康・介護まつり」を開催しました

2025 年 11 月 22 日土曜日に「いづろ健康・介護まつり」を開催いたしました。

今回は「心も体も健やかに！ 笑顔あふれるまち」をテーマに、地域の皆さまの健康づくりと介護への理解促進を目的とし、昨年度に引き続き、名山校区コミュニティ協議会との共催で実施いたしました。

当日は甲東中学校音楽部の生徒さん達によるミニコンサートで幕を開け、来場者や入院患者様の心を和ませる演奏が会場を包み込みました。続いて開催した市民公開講座では、南風病院 認知症看護認定看護師の榎本さつき氏を講師に迎え、フレイル予防について、日常生活の中で実践できる運動や生活習慣の工夫を分かりやすく解説いただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

会場内では、「血糖・血圧測定」「骨密度測定」などの健康チェックコーナー、「健康相談」「医療・福祉相談」などの相談コーナー、「BLS 講習会」「ACP 案内」「オレンジバルーンプロジェクト」の紹介、名山校区コミュニティ協議会や社会福祉法人慈愛会の架け橋、近隣店舗の方々にご協力いただき、ラダーゲッターや吹き矢などのニュースポーツの紹介・体験コーナー、お楽しみコーナーや手作り品の出店、バルーンアーティストによるパフォーマンスなど設け、子供から高齢者まで幅広い世代の方々に賑わってまいりました。

また、当イベントに合わせて、小学生以下を対象とした絵画コンクールを開催することになりました。「笑顔をつなぐまち」をテーマに描かれた作品を展示し、子供たちの個性あふれる作品が来場者の目を楽しませるとともに、表彰式では受賞者一人ひとりに表彰状が授与され、会場は温かな拍手に包まれました。

今回も地域のイベントとして、世代を超えた交流が生まれ、地域のつながりを深める有意義な催しとなりました。今後も地域の皆様の健康づくり・交流の場として継続し、地域の皆様が健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



■ 発行者 ■  公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 地域連携室

いづろ今村病院 TEL099-226-2600(代表) いづろ今村病院・地域連携室 TEL099-226-2180 FAX099-226-2181

いづろ今村病院夜間かかりつけ救急 TEL099-226-2600 今村総合病院 救急・総合内科 TEL099-251-2221(代表)